強化

推進委員会ひら

期にあつて本会の活動は休

止せざるを得なくなつて

たものです。

失うとともに、

ともに、戦後の混乱、本会事業の母体を

とのうち、

会員募集につ

| 異常なまでの高度経済成長

月十六

日まて

由としては、戦後、日本は

たに会員募

£

w

人場

発行所

愛媛県喜多郡

印刷所 岸本印刷所

1月末人口世帯数

〔1月中の異動 = 転入

42 転出93 出生14 死亡

[1月中の異動= 転入 6 転出15= -7]

> 1月町政日誌 新春囲碁将棋大 会

> > ボラテイア講習

喜多郡町村長会

婦人の職場進出などによつ

親に

代わる保育設備が必

年、特に出かせぎ者

增

す増えつつある現状にたい

て自然共かせぎ家庭が増加

福祉に欠ける児童がますまし

ため。

要だとの声が高まつてきた

5日 御用始め

13日 婦人大会

会

研修会

17日 町議会・文教厚

生委員会

19日 農業共済事業運

営協議会

30日 特別職報酬等審

議会

の各戸へ会員募集にまわる て募集受持地区を決め町内と地区代表の協議会を開い 近く各地区の強化推進委員 める者」であることを決め 円以上の金額を五カ年間納

ことになつています。 また乳児保育所設立の理

町贈所

民与得

税税税

申

H

口

加

15日 成人式 16日 老人クラブ幹部

人口

14 = -51

世帯数

4日

14.718人

3.897戸

長浜 町 役

広報 

いぜん続いている。

というきわめて異常な事態 その数も月に二件の発生率 のにしかわからないといえかは、直接火災にあつたも

は昨年から火事が相つぎ、季節を問わず、長浜町で

しかし、どのようにこわいはだれでもわかつている。 戸 火事がこわ ŧ 7 いということ

そ ば 器 は る な

(,) 注 意 を

では済まない。そうなれば を出せばたいてい火元一軒 は言うまでもない。火事 る。すべてが灰になること ざといえよう。化学製品の うまでもなく文化物のしわ

どうなる。

昔から火事をお

はんらん、

これが燃えだす

いつかの新聞によると、温しながらじつによく燃える

と多量な有毒ガスをふき出

泉地の大火災の発生ニユー

性をもつ

材質がこの観点から指摘さ ス後。建物に使う新建材の

をおろそかにできない性質 する性質をもつており一秒 て一瞬のうちに火の海と化

してください。

けている方は、その証

書も)役場窓口へ提出

誕生日がきたらすぐに の方が該当しますから 二年と三十三年生まれ

ととしは、明治三十

印鑑を(公的年金を受

\*18

会が活動を

\*

大正十五年から昭和二十三年にかけて幼児保育の活動

乳児保育所建設もきまる

善会員、 委員会

町

町社会福祉協

乳児保育所設立計画

200.93坪

約100坪

土地代

建物建築

初度調弁費

日本自転車振興会補助

補

事業経営者、医師、弁護士

商業、工業、農業などの

いません

カマ…

后北ち中

ラカラ

などの自由業の人はもちろ

金

合

所 長浜甲620番地の1外

員会(現在残つている奨長浜奨善会活動強化推進

鉄筋コンクリート、1部2階建

4.360.000円

13.000.000円

1.500.000円

18.860.000円

8.443.000円

8.917.000円

1.500.000円

18.860.000円

申告期限は、いずれも三月 つぎのとおり係官を派遣しの申告期が参りました。 つぎのとおり係官を派遣し

乳児(0才~3才まで)60人

助

計

▽所得税確定申告

昭和45年度中に着工、竣工する

十六日までです。忘れない

よう申告しましよう。

(旧長浜町)のあらゆる社会福祉活

を中心に、長浜町

動に貢献していた財団法人長浜奨善会が、

今、その活

の再開をせまられ再び福祉の灯をともそうとしています。

長浜

奨善会とは

急務であるため①あらたに つた会員をおぎなうことが

場

建

4. 収容

建

1.

2. 敷 地 面積

5.

6. 財

所得がある人や給与の収入

給与以外に一定額を越える

申告

金額が五百 万 円 を 越える

人などは、昨年一年間の所

開きました。

との結果、

まず少なくな

町体育館で、初の委員会を 討するため、二月二日長浜 善会の活動強化について検 議会らで結成)では長浜奨

造

源

町

寄

合

二カ所以上から給与などを

ん、給与所得者であつても

事業実施予定

受けている人、

あるいは、

構

人 員 費

築

築



長浜奨善会旗

この旗のもとに、二百十数人の 会員が福祉活動につとめていた。

などが決

するか、

または、

毎年二千

新

に一万円以上の金員を納付いては、その資格を「一時

をとげ、

世界驚異の的とな

得や税額を確定申告書に記

1970

16

入し、

大洲税務署に提出す

て、

の受付と申告書の記

幼児の健康増進、 氏らを中心に二百十数人ので、当時の町長西村兵太郎 と長浜協議会が廃止されま その当時にあつた長浜区会 ていた会ですが、昭 の遺族や生活困窮者の救済 敬老会の実施、 を創立し運営するとともに 目的とした「長浜愛児園」 会員をもつて幼児の保育を の許可を得て発足した会 た財産を土台に、主務大臣 したが、そのときに残され 年の長浜大火災で愛児園 大正十五年に旧長浜町で 町民の福祉に貢献し 姙産婦や乳 戦病死者 和二十 幼児保育所に代わつて、 営してゆくこと、 奨善会の活動母体であつた 会員を募集する②これまで らしく乳児保育所を設立運

先日十

スピードで燃え広がる。言性質も違ううえじつに早い

しい事態をもしあなたの家死されるというような痛ま 庭からおこしたとすれば決 三日の小里さん宅の火事の して金や物では済まない。 ように、お年寄り夫婦が焼 だけならともかく、 おりといえましよう。それいますが、まさしくそのと こすと親子三代たたるとい 昔の火に比べ、今の火は

これが火事のつめあと ……もしわが家だつたら (長浜小里さん宅焼け跡、13日写す)

必

ず

ほか、冬 必需品と が台所の には暖房 れてある が、こ も備えら していつ 燃料とし らは爆発 ています て普及し

末、あとに残る子ども、老らきに出る本人の火の始らきに出る本人の火の始く時代です。共かせぎには 婦人も今は職場に出て働ら 意してほしいと思います。 ては慎重に慎重を重ねて注 人らの火のとり扱いについ 昔は家庭の留守役だつた さいわい、この二十四件 とです。 水や消 人をつ す。

ツプといわれるタバ の火災の中には、統計上ト つが原 つた」ことが原因であるこかし、そのほとんどが「火のあるところに人がいなかりません。し ます。 に大きな教訓を与えていま ければならない掟だといえ からみんなが絶対に守らな 火器を備え、必ず番 ける」ことこそ、今 火のあるところには このことは私たち

社会的なひずみも多く、近つているが、そのかげには 製造を中 スや石油 ロパンガ の製品が数社 今の家庭 した。 われるプ 燃料とい には文化 止されま また、 ることになつていますが、

る仲、 はなく、 互いとの危険物を備えてい そぎ合う仲となつていただ きたいものです。 のものです。隣りどおしお 火に油をそそぐ仲で お互いに注意をそ

長浜町ではこれまでにない 発生しているということは じつに二十四件もの火災が とにかく昨年の一月から りませ れぐれ だきた \$ 5 ことの 一生が

恐ろ るだろうかということを、 ら今の自分はどうなつてい 自分がとの中の一人とした い記録である。もし ん。 ないようお互いにく どん底に落とされる い。そしてあなたの 度想像してみていた

は無料です。 月一日から二十日までに役 どらんになりたい方は、三 場税務課へおいでください この期間に限り、閲覧料 個定資産税の課税台帳を

火のある所

70歳に

老令福祉年金がもらえ 満七○才になると、 なつたら

ます。

は20日までに

産台帳 無料えつらん

ください。

必要事項を記入し申告して 各連絡所)にありますから 申告用紙は、役場(又は

外の方は申告をしてくださ

「所得税の確定申告書を

所得者で、前年中に給与以 外の所得がなかつた方」以 堤出した方」および「給与

▽町民税の申告 贈与税がかかります。

年に二十万円を越える金額 の贈与を受けているときは

額が四十万円以下でも、同 じ入から、前年または前々

ているときは贈与税がかか産の価額が四十万円を越え ります。 また、もらつた財産の価

▽贈与税の申告 昨年一年間にもらつた財 長浜町体育館大ホ 三月二日三日

|と き 二月二十七日 ところ ことになつています。

| 載のしかたや相談に応じる

女性の方の服装は、

また、問題とされている

ひき続き一〇〇%洋服出席

した。

五%)でした。

六十八人(該当者の約六十

73

出席した新成人は、男六十

女百二人で、合計百

そして、この日成人式に

쾇

計二百六十人です。

を迎えた該当者は、男百十

ことし長浜町で成人の日

人、女百四十九人で、

合

なわれました。

えた方たちを祝う行事が行 で、新らしく成人の日を迎 と思います。

長浜町でも、

恒例の日程

を思い浮べていただきたい

が生じるわけです。

「一月十五日、成人の日」

成人式と服装

着

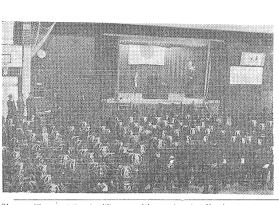
出席

な

ぜ禁ず

ご意見に答えて

## ら40人を表彰 者



員三七五人が出動して行な 九時から、長浜中学校に団 われました。 との日は、 あいにく前夜

気をよぶポンプ操法、分列

しかし、毎年観覧者の人

分団 十部班長) 小西強(

水本増雄、丸井忠重(長浜

分団才一部団員)田中利徳

より。

薫(櫛生分団オー部

◎長浜町消防団櫛生分団後|るその功績により。

物・心ともに援助されてい

櫛生分団にたいし日ごろ

峯大越道路つ

出海分団オ一部班長)山田

団員) 塚井 山本

勲、小西伸一

われました。

各個・小隊教練、表彰

灘分団才二部部長) 沢井時

(長浜分団才二部団員)

西

接会

(櫛生)

基、亀岡

茂(喜多灘

活動に協力したその功績に 員全員が仕事を放棄し消火

弥

理)ら来賓三十五人が見守 は屋内体育館に移して行な るなか、 われましたが、県知事(代 からの雨が続いたため、式 行進をはじめ、長浜大橋で

二部団員)

菊地俊正

山本忠久 (大和

(大和分団 水三部団員)【喜

猛

(白滝分

世 地 ま で われとその人の日鑑登録済みの名

かりの保証

0

0

0

住番

部団員) 藤本美次 (白竜分団 員) 一藤照明 (大和分団オー

ときよく忘れものがありまし忘れものをしないようにし

役場へ届出などに行つた

す。つぎの表を利用して

(注)◎印は以前に加入して

ん

幸太郎(長浜分団才三部班

長) 大野健市 (白滝分団>

木弘基(出海分団か二部団

(出海分団才一部団員) 塚

これだけは忘れない

Ci

ましよう。

峯大越道路が完成し、

さん) りと

されました。 行なう予定だつたポンプい 表彰されたほか個人では、 動が、消防庁長官から団体 する長浜町消 中豪雨にたい 二十六日の集 四十三年八月 つせい放水は雨のため中止 切団の<br />
防災活 ことし表彰をされたのは 三月三日は

耳

**(**D)

B

について考えてみましよう との機会に耳のたいせつさ

員)津田久光(喜多灘分団オ

団才二部団

年 母

年

金 金 子

証 手 手 明わ

書 帳 帳 細る

0 0

0 0

 $\bigcirc$ 

 $\circ$ 

0

0

0

0

0

0

| 部団員) 上田俊厚 (櫛生分

海分団才一部団員) 成田

役場窓口への各種届出と持参品(人)

転 主

出 籍

証

明 通

 $\bigcirc$ 0  $\bigcirc$ 0  $\circ$ 

> 0 0 0 0

0

0 0

0 0

 $\circ$ 

0 0 0

 $\bigcirc$ 

長浜消防団長

戸 印

届

鑑 書 書 帳

0

0

0

0

 $\circ$ 

0

0

0

 $\circ$ 

0

0

出 ()

居

生

亡

世帯主変更

世帯 分離

世帯 合

国保 加

国保 喪 失

年金 喪 失

口艦 登 録

税務課 満治雄

証明

団才二部団員) 福井

福 畄 忠

国民健康保険被保険者証

0

0

0

0

0

 $\bigcirc$ 

 $\bigcirc$ 

部長四人、班長一〇人、 彰されました。(称略敬)。 員 二六人 がつぎのとおり表 【消防庁長官表彰】 長浜町 寸 多郡消防団連合会長表彰】 末広功男 分団才二部班長) 勤続章= (長浜分団オ三部団員)武田 久保貞夫 (白滝 沖江晴夫

見(長浜分団才五部班長) 団才一部部長)久保正甫(長 功績章=池田龍光(出海分 消防団【愛媛県知事表彰】 田淵助市、浅田辰雄(長浜 身、西岡昭一(白滝分団オ 和分団才三部団負)中野修 **为二部団員)大宮清重(大** 団員) 小西甫明(出海分団 分団才四部団員)規律章= 二部団員) 高石一吉 (白滝 清(長浜分団>四部団員) (櫛生分団オ二部 慶さん方が火災の際、近く ◎峯建設有限会社々長・峯 贈呈されました。 金太郎氏(大洲市梅川) から、つぎの方に感謝状が (大和分団才一部班長)播 昨年十一月、柴の大野幸 とのほか、 明(青島分団団員)

分団才六部班長)

谷田和三

で作業をしていた同社従業

届出に必ず必 要なもの (人)

届出别

転

転

転

出

死

出初式おわ

団出初式は、二月八日午前昭和四十五年長浜町消防 いのか!> なぜ楽しみにしている〝晴 の声が入つてきております <一生に一度の成人式に、 ので、これについてお答え てつぎのような意見や要望 ことしも、このことについ 式に出席する女性の服装を します。 を呼びかけていることです もなく、 「洋服」に制限し、簡素化 声<意見・要望> その問題とは、言うまで なぜ \*洋服\* というのか 長浜町では、 で 式などが、きびきびと行な

ととで毎年。 問題 望が聞かれます。 て洋服を新調しなければな うもんだ!>…… ないのは、 ころは『晴れ着』だ!> 町ぐらいで、ほとんどのと △服装を制限するのは長浜 らない!> らなくなり、 ない者は、やはり金をかけ すでに晴れ着を作つていた 人、また、 へ生活改善とは言え、洋服 八今の時代に晴れ着も作 に制限することによつて、 とれらのど意見、要望に 以上のようなご意見や要 など。 着て行く洋服の

ついて、教育委員会、公民

かい性なしとい 結果的には変

をなくそう 生活改善でむだ

て、この主旨をご理解いた だきたいと思いまず。 から、みなさんにお伺いし お答えし、また、逆の立場

ていただきたいということ 気軽く該当者全員に出席し 無理がいかないかたちで、 ◇まず汁一には、成人式は といわれると……… なぜ洋服に制限するのか 席を!

席できますか? はなやかな晴れ着姿の親し い友と、楽しく成人式に出 んの洋服を着て、あなたは 身のうえだつた場合、ふだ たが家庭の事情などで、 娘さんへ・・もし、 しても晴れ着が作れない ど

お母さんであるあなたは、 どのような気持ですか?。 な晴れ着の中に、洋服姿の お母さんへ・・はなやか

洋服で花束贈呈を受ける成人者

(45年成人式から)

を基本として打出したこと

なお、近隣の町では、

林道で、

四十三年十月に着 巾三メートルの農

てでき 工 エ

たものです。

費六〇〇万円をかけ

大きく分けて二つの考え方 からむだをなくそうという

との た。

道路は延長三〇〇メ

保育所長・1/1)新江政信

(水族館・2/1)

ないかたちで行ない、生活

五旦

竣工式が行なわれま

意義から、

Ø

つには、

生活改善をはかる 成人式も無理

るということと、

もうひ

館としては、つぎのとおり◇一生に、 成人式は全員出 使用しない、しかっ、 |は何十万円という金をかけ でない物に、何万円あるい ますか? るということを、どう思い

るいは何万円もかかること に何も感じませんか? りる道具や衣装に何千円あ れないものか。ちよつと借 つと簡単に、もつと安くや やお葬式をされたとき。 た、たとえば、 結婚式 P

しかも必需品 和、櫛生、沖浦、 います。 みんなにたいへん喜ばれて ができるようになつており では地域や部落で葬儀道具 すめていますが、現在、大 を構え、安い経費でお葬式 ら取り組み、改善運動をす

結婚を選び、 費制により安くて簡単に、 される方は、ほとんどが会 しかも楽しくやれる公民館 また、 最近、 その利用数は 町内で結婚 らせのとおり、見舞返しや

公民館では、このような

ことにも生活改善のうえか 黒田など

ますが、これについても、 非常に喜ばれ、町の広報紙 として廃止をよびかけてい 返しのほか香典返しなどに ついても、生活改善の一環 「広報ながはま」でもお知

や知人からお見舞品を受け ◇自分が病気となり、近所 ますます増えるいっぽうで

気になりませんか? たとき、見舞返しのことが 公民館では、これら見舞

香典返しの替わり金が、

民館としての主旨がご理解 求めてゆけば、委員会、 点について、正しい結果を 民館活動に寄付され、たい へんよろこばれています。 公

現実的な方法(手段)であ 意義深い成人式典に、衣装 成人の日を迎える人たちが禁じたということは、要は が、成人式に晴れ着出席をいただけるものと信じます が楽しく出席できるための となく、一人残らず、 のことなどに左右されるこ 以上、お答えしたような 全員

の見解から全国的に取りあこの運動は大変良い事だとこの運動は大変良い事だとこの運動は大変良い事だと げられ推進されています。 付

た

「まど |円を香典返しの代わ とろ銀行」へ ございまし ありがとう

▽二万五千円を見舞返しの 代わりとして〔長浜・尾崎 ▽一万五千円を香典返しの りとして〔柴・土居孝童さ▽五万円を香典返しの代わ て〔仁久・小川菊子 集 募 賞与 退職金 月分

衛 Ė 五〇日分。 五〇〇〇円)

代わりとして〔白滝・上田

陸夫さんご

サダヨさん〕

も完備。

mp,

有線放送電話番号簿加除訂正表

(追 加) 番号 部落 729 寺町 夏 2 7 12 14 16 34 35 42 57 氏泉宇白 部落名 名信男玉 勝 佐 徳 945 新町 88 稲荷町 ホルモン料理上田邦彦 904小浦 960 紺屋町 | 96U | 相 屋 下 | 592 | 大屋 | 365 | 須沢 | 242 | ″ | 中央 | 496 | 加屋 を「497番」 200番 出海 稲荷町山 際

◆嘱託 = 垣見金次郎 (沖浦 委員会) 以上2/1 変更 P.48~木下徳光「470番」 休止 P.33~上佐占重喜 200番 P.1~岩城 茂雄 88 P.16~山本 時雄 606 P.6「久保勉」「黒田社町一を「本町二」に訂正 88番 606番 「黒田衣料品店」の「部落名」欄、本

**⑥応募資格** 給与 応募手続 才までの男子

町役場窓口、 一八才~二四

四-二、一一一) 〈。 所(大洲市役所内、電話 月額 二万五〇〇円(一 または、自衛隊大洲分駐 000円)。

CO円) 年三回(四・五ケ 〇カ月目に二万三 約九万五〇

二年の場合

約一

○その他 ②衣食住 全部無料 三年の場合 約一 ①技術、国家試験 で支給または貸与 〇〇日分(約八万)

②娯楽設備、クラブなど ③長浜町からは、理在七 ○人の方が入隊してい

課)本之木安正(建設課)上放送電話係)政所友邦(税務 ◆本採用=佐野満子(有線 

奥野政信 (税務課・1/3) 夫(税務課収納係長・1/14) 浦保育所長・12/31)児玉繁 日) =垣見金次郎(沖 (数字は退職および É

などが修得でき

就任月 ◇退職

(開発課)田中宏幸 (|{しいことは、役場窓口か自 試験日など、このほか詳 ます。